

<報道資料>

2013年11月19日
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
<http://u-s-d.co.jp>

軽度・中度難聴の聞こえを改善する「コミュニケーションサポートシステム
COMUOON」を発表
-難聴者の聞こえを話者側でも改善-
来る11月22日（金）から24日（日）まで秋葉原 UDXにて開催される
「情報アクセシビリティ・フォーラム～音をつかむ 未来をつかむ～」に出品

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役：中石真一路）は、慶応義塾大学 SFC 研究所湘南音楽音響・ラボ（代表者：環境情報学部教授 武藤佳恭）、聴覚障害者の聞こえの改善に向け共同で研究開発を実施し、その成果として健聴者と難聴者の直接的なコミュニケーションを可能とする「コミュニケーションサポートシステム COMUOON（コミュニケーション）」が完成いたしました。

本製品は、HP（<http://u-s-d.co.jp>）で広く公開するとともに、2013年11月22日（金）から24日（日）の期間、東京都千代田区・秋葉原 UDXにて開催される、「情報アクセシビリティ・フォーラム～音をつかむ 未来をつかむ～（主催/一般財団法人全日本ろうあ連盟）」に出品します。
※ 展示エリアの公開は23日（土）～24日（日）となります。

「コミュニケーションサポートシステム COMUOON」は、補聴器のように難聴の方が装着する形ではなく話者が本製品の専用マイクを通じ会話を行うことで、難聴者の方の聞こえの支援を行う新しいシステムです。スピーカーの構造により指向性をもたせ、設置する部屋における声の反射を抑え、声の明瞭度と発話時のレスポンスを向上させることで聞こえやすさを大幅に改善しました。

※現在までの検証で、軽度および中度難聴の方での聞こえ改善効果がみられています。
※ご注意：聞こえには個人差がございますので、聞こえを保障するものではありません

また難聴者のオーディオグラム（オーディオグラフで測定した聴力レベルのグラフ）だけでなく、利用される環境の騒音など聞こえの関連要因を総合的に考慮した上で、利用する環境に最適なシステムでの「聞こえ」の提供が可能になっています。本システムの開発にあたっては、聞こえのユニバーサルデザインを推進している NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザイン（所在地：千葉県松戸市、理事長：五百蔵 伸祐）を通じて30名におよぶ難聴者の皆様のご協力を受け、成果および要望を反映しています。

本製品の発売は、2013年12月を予定しています。また発売に先駆け、2013年12月、佐賀県地域産業支援センター（佐賀県佐賀市：飛石昇理事長）に、ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社「九州 R&D センター」を開設します。同センターでは、「コミュニケーションサポートシステム COMUOON」の更なる研究開発を通じ、「難聴者の皆様の聞こえのユニバーサルデザイ

ン」を実現するため新技術の開発をおこなってまいります。佐賀県での開設は、佐賀県が障害者福祉に熱心に取り組まれており、とりわけ全国でも珍しい障害者に特化した「就労支援室」を設け、障害者の「働きたい」を積極的に支援されていることや来年春には聴覚障害者サポートセンターが開設され、聴こえの相談等に積極的に取り組まれることなどからです。同センターでは当社のコミュニケーションサポートシステムを積極的に活用することで、聴覚障害者の就労に関し共同で推進していくこととしています。

＜「コミュニケーションサポートシステム COMUOON」製品概要＞



●コントロールドック（アンプ）部仕様

再生周波数帯域： 20Hz～22,000kHz
 信号入力： φ3.5mm 3極ミニジャック 入力インピーダンス：10kΩ以上
 最大入力レベル： 2Vrms
 マイク入力： φ3.5mm 3極ミニジャック プラグインパワー方式
 実用最大出力（JEITA）：10W

T.H.D： 0.2%以下（1W出力時）
 S/N比： 85dB以上（JIS-A,ライン入力）

電源： DC15V
 最大外形寸法： H50.4×W86×D86mm
 質量： 97g

●スピーカー部仕様

型式： 密封型
 実用最大出力： 10W 8Ω
 内容積： 0.35リットル
 スピーカーユニット： φ60mmフラットスピーカー

周波数特性： 80Hz～20,000Hz
 最大外形寸法： H133×W95×D95mm
 質量： 328g

ACアダプター（3.0m×1）、マイクロショットガンマイク（1.5m×1）付属

■本製品の開発に至る背景・意義

日本で聴覚障害者とされるのは、聴力が非常に低い人のみでありそれ以外の難聴者がどの程度存在するのか、というデータはほとんどありません、また高齢化の影響で加齢により聴力が衰えている方も多くなっています。難聴で悩む人は、ここ最近増加傾向をたどっているものの、難聴に関して社会的な理解が低いのが現状です。この状況は、「健聴者は聴こえにくいということイメージできない」ことが大きく影響していると考えています。また同時に難聴者に言葉で伝えたいという悩みをもつ方もたくさんいることに気が付きました。

「私の父も難聴ですが、一番身近な家族でもなかなか大変さを理解してもらえないことが、難聴者の方にとってすごくつらいことなのです。聞きたいという思いがある難聴者、伝えたいと思う健聴者。両者の思いを叶えることができできるだけ簡単に利用できる機器を開発したいと思ったのが本製品開発のきっかけです」(中石)

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社<会社概要>

「伝える、聴こえるをデザインする」。をミッションに掲げ、聴こえ支援機器の開発やプロフェッショナル向け音響機器製造販売を展開。店舗向けのサウンドプランニングやサウンドリノベーションサービスによる音環境の改善にも取り組んでいる。

商号： ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

URL：<http://u-s-d.co.jp>

設立主旨： NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインでの聴こえ支援技術の基礎研究を完了し、

製品化のスピードアップを行うべくユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立し

研究を移管

設立日： 平成24年4月6日

代表取締役： 中石 真一路

資本金： 300万円 (11月末に750万に増資登記完了予定)

本社所在地： 東京都港区北青山2-7-26フジビル28 2階 (TEL03-6427-1467)

大阪オフィス

大阪府大阪市西区西本町2-1-1 6A (TEL06-6535-7017)

事業内容： 聞こえ支援機器の設計・開発・販売

各種店舗、建築物及び室内空間のサウンドデザイン企画、制作並びに
コンサルタント業務

スマートフォンアプリケーションの設計・開発

CSR活動 「声と音のバリアフリーをめざして」

NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインでは、吹奏楽演奏会を通じ「聴こえの大切さ」や「聴こえの仕組み」をお伝えしつつ、小さなお子様をもつ皆様にお伝えしています。

上記の活動に対してユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の販売する製品の売り上げの一部を寄付させていただいています。

<中石 真一路プロフィール>

慶応義塾大学 SFC 研究所 所員(訪問) 熊本 YMCA 専門学校建築科卒業後、現場監督に従事。その後デジタルハリウッドに入学。卒業後は12年間にわたり web ディレクターおよびプロジェクトマネージャーとして、トヨタ、富士フィルム、メルシャン、マツダなど大手 web サイトなどの市場調査、サービス開発、有料モバイルサイトの立ち上げに従事。携わったサイトは、200 を超える。

携帯電話を使った QR コード会員認証システムについてのシステム開発を28歳で担当し特許出願を経験する。その他携帯紛失時の通知システムなど出願に携わった特許は5件に及ぶ。

前職の EMI ミュージック・ジャパンでは web システムの統括のかたわら、新規事業開発担当として「聴こえが気になる人でも聞きやすいスピーカーの研究開発」を提案するも事業化にはならず、EMI ミュージック在職中に NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインを設立し、「発話側で行う聴覚障害者向けの情報支援」という新しい分野を確立する。その研究実績が認められ、現在慶応義塾大学 SFC 研究所にて研究員（訪問）として武藤研究室にて聴こえ支援技術の研究を行っている。当社では、代表取締役として経営全般及び、聴こえプロダクトデザインから技術開発と商品企画、パートナーアライアンス、技術営業までを担当。自らライブイベントの PA オペレーターもこなす音響エンジニアである。

「コミュニケーションサポートシステム」に関する一般の方のお問い合わせ先
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 企画営業本部 中石
03-6427-1467

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 コーポレート戦略本部 広報室 木村
03-6427-1467

※写真画像もご用意しておりますので、必要な方はご連絡ください。